

薬や運動保存療法が基本

病院の 実力 ～山形編 200

腰の病気

今回の病院の実力は、腰の病気を取り上げた。一覧表には、脊椎専門医のいる医療機関で、2023年に行われた腰部脊柱管狭窄症や腰部椎間板ヘルニアの手術実績などを載せた。

成人脊柱変形は加齢によって椎骨が変形したり、子どもの頃の側彎症が再発したりすることによって生じる。足のしびれや痛みを

加齢により、背骨が異常に曲がったり、椎間板が変形したりすると、神経を圧迫して腰痛や下半身のしびれといった症状を引き起こす。高齢女性での発症が多いとされ、原因がはっきり

しないことも少なくない。山形県山形市にある千葉克司診療部長は「高年齢化の進展とともに患者数が増える傾向にある」と話す。

同病院には「日本脊椎脊髄病学会」が認定する指導医が3人在籍する。地域での医療連携を密にしており、かかりつけ医からの紹介で受診する患者が多い。問診後、触診やレントゲン、MRI（磁気共鳴画像）による精密検査で骨のずれや曲がり具合を確認し、手術の場合はさらにCT（コンピュータ断層撮影法）で詳細に調べる。

千葉部長は「腰の病気は重症化すると、治療しても下半身にまひが残ることがある。腰に違和感を感じたら放置せず受診してほしい」と呼びかけている。



みゆき会病院
山形脊椎センター

千葉克司診療部長

腰に違和感放置せず受診を

や飛び出た椎間板などを削ったりする。同病院は内視鏡手術に力を入れており、近年は手術の約9割が内視鏡だ。傷口が数センチと小さくて済み、術後約1〜2週間で退院できる。

体力的に手術が難しく、飲み薬では効果が表れない場合、同病院では、脊髄を取り巻く硬膜の外側に薬液を注入する「硬膜外腔薬液注射療法」を受けることもできる。2018年に保険適用された手法で、痛みを和らげられる。30分程度で終わり、翌日には退院できる。

た。

背骨（脊椎）は、椎骨という骨が積み重なって、その間に椎間板と呼ばれるクッションが入っている。椎骨の中には、脳からつながる中枢神経（脊髄）の通り道である脊髄管がある。

椎管狭窄症は、椎骨をつなぐ靱帯が厚くなったり、椎骨がずれたりして、脊髄管が狭くなる。足腰にしびれを感じるようになる。椎間板が飛び出し、神経を圧迫することによって生じる椎間板ヘルニアは、腰や尻に痛みを

伴うことが多い。もろくなった椎骨がつぶれる骨粗しょう症性椎体骨折は、背骨がゆがんで前かがみになりやすく、痛みも出

る。いずれも内臓が圧迫され、逆流性食道炎が生じることがある。腰の病気の治療は痛み止めなどの薬や運動、コルセットなどによる保存療法が基本だが、症状が進行した場合は早期の手術が勧められる。ただ、椎間板ヘルニアには、手術と保存療法の

中間的な治療として、椎間板に薬を注射し、ヘルニアを縮小させる椎間板内酵素注入療法もある。手術に比べて体の負担は少ないが、生涯に1回しかできない。

腰や下半身の痛み、しびれが続いたら、早めに専門医を受診したい。

病院の実力「腰の病気」 医療機関別2023年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	椎間板ヘルニア手術 (件)	椎間板内酵素注入療法 (件)	成人脊柱変形手術 (件)	骨粗しょう症性椎体骨折手術 (件)	骨粗しょう症性椎体骨折手術 (件)
山形					
東北中央	400	54	0	16	0
みゆき会	154	24	7	30	9
山形大	8	0	0	0	0
秋田					
JCHO秋田	61	9	0	0	2
市立横手	58	36	0	7	13
宮城					
仙台整形外科	215	129	15	0	3
石巻赤十字	92	31	1	0	0
大崎市民	65	11	11	0	0
泉整形外科	61	49	0	0	8
東北大	14	2	0	4	0
福島					
県立医大津医療セ	199	85	10	8	6
竹田総合	57	59	0	0	7
県立医大	55	10	1	2	1

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「セ」はセンター

全国の調査結果は19日の「からだ」面に掲載しました。

同病院には「日本脊椎脊髄病学会」が認定する指導医が3人在籍する。地域での医療連携を密にしており、かかりつけ医からの紹介で受診する患者が多い。問診後、触診やレントゲン、MRI（磁気共鳴画像）による精密検査で骨のずれや曲がり具合を確認し、手術の場合はさらにCT（コンピュータ断層撮影法）で詳細に調べる。

椎管狭窄症や腰部椎間板ヘルニアの手術では、骨と神経の癒着を剥がしたり、変形した骨

千葉部長は「腰の病気は重症化すると、治療しても下半身にまひが残ることがある。腰に違和感を感じたら放置せず受診してほしい」と呼びかけている。